

東京2020オリンピックが終わり 選手団が本市に残したもの

☎027・898・6005
☎027・898・6005

令和元年11月に来日以降、1年9カ月の長い間、東京2020オリンピック・パラリンピックの出場を目指し、本市でトレーニングを続けた南スーダン陸上競技選手4人とコーチ1人の選手団が8月26日に帰国しました。

東京2020オリンピック・パラリンピックに出場できたのは4人中2人の選手。予選敗退という結果でしたが、選手は「独立して10年しか経っていない南スーダンという国が、世界の一員になれたことを実感しました。今大会を通じて多くの選手との交流や前橋市でのたくさんの方との交流が生まれ、この中で学んだことや貴重な体験、人を思いやる大切さなどを母国に帰ってしっかりと伝えていきたい」と語りました。

私たちは南スーダン選手団との交流を通じて、他国の文化に触れたり、一緒に遊んだり、運動をしたりした日々を忘れません。南スーダン選手団は、3年後の2024年パリ大会に向けて、新たなスタートを切ります。



7月18日 出発式

7月16日 壮行会



8月10日
オリンピック終了後のあいさつ

前橋市民の皆さんへ

オミロク・ジョセフ・レンシオ・トビア (選手団コーチ)
日本の皆さん、特に前橋市民の皆さんのこれまでの大きなサポートに感謝します。今回築いた関係が、永久に続くことを望みます。

グエム・アブラハム・マジュック・マテット (1,500 m出場)
こうして前橋の皆さんに感謝の気持ちを伝える機会をもらえてうれしく思います。我々のチームに信じられないようなおもてなしを本当にありがとうございました。前橋で生活したことは一生忘れません。今では私にとって前橋が第二の故郷です。今度は皆さんがぜひ南スーダンに来てください。おもてなしします。

モリス・ルシア・ウィリアム・カルロ (200 m出場)
サポートをありがとうございました。こんなに多くの人たちに親切にしてもらったのは生まれて初めてでした。そして皆さんのおかげでオリンピックに出場することができました。皆さんの優しさは一生忘れません。

アクーン・ジョセフ・アクーン・アクーン (400 m・400 mハードル)
これまで私とチームに大きなサポートをありがとうございました。このサポートは一生忘れません。日本ありがとう！前橋ありがとう！

クティヤン・マイケル・マチーク・ティン (パラリンピック 100 m)
前橋の皆さんからのサポートに心から感謝します。前橋の皆さんとの一瞬一瞬が今でも胸に刻まれて、ここを離れると思うととても寂しい気持ちになります。

本市にゆかりのある オリンピック出場選手の結果

- 自転車マウンテンバイク
今井 美穂 選手 37 位
- マラソンスイミング
貴田 裕美 選手 13 位
- 水球
志賀 光明 選手 1 勝 4 敗
予選リーグ敗退

市内で事前合宿

東京2020大会に出場した自転車競技の強豪国・ベルギー王国自転車競技選手団32人が、7月9日から31日までヤマダグリーン・ドーム前橋や赤城山での事前合宿をしました。
ハンガリーのレスリングと柔道、スリランカの重量挙げ、ベラルーシのトランポリン、コロンビアのパラリンピック陸上選手団の事前合宿は中止となりました。



前橋文学館で特別企画展「ああこれはなんと美しい憂鬱だらう」ムットーニのからくり文学館」を開催。自動からくり人形作家のムットーニこと武藤政彦さん。独自の世界観を数分間に凝縮して表現したその作品は、唯一無二のもので。本展では萩原朔太郎の詩を作品化したボックスシアターを展示。また、萩原朔太郎の詩作品「恐ろしく憂鬱なる」からインスピレーションを受けた新作を初公開します。その他、作品設計図やアトリエパーツ、朔太郎の直筆原稿も公開します。

前橋文学館特別企画展

ああこれはなんと美しい憂鬱だらう ムットーニのからくり文学館

2021 10/9 ~ 2022 1/16

☎027-235-8011

- 関連イベント
- ① 作家口上
展示作品について、武藤さん自身が口上で案内します。
時 10月9日(土)11時30分・13時30分・15時30分、12月4日(土)11時30分・15時30分、12月16日(日)11時30分・13時30分・15時30分
- ② 対談「ああ これはなんと美しい憂鬱だらう」
作者の武藤さんと、作品朗読を担当している俳優の笠原拓郎さんが新作の制作秘話などを講演します。
時 12月4日(土)14時
- ③ 対一般、先着50人
- ④ 以上②の2つは9月18日(土)9時から同館へ

ムットーニとは？

ムットーニ (武藤政彦さん)
1956年神奈川県横浜市に生まれる。1979年創形美術学校研究科修了。1980年代半ばより、油彩画と並行し立体作品の制作を始める。音と光と人形達の織りなす幻想的な作品世界が高い評価を受け、全国で大規模なイベントを開催。2007 - 2010年、大阪成蹊大学芸術学部客員教授。近年の主な展覧会に「蜘蛛の糸」展(2016年、豊田市美術館、愛知)、「ムットーニ・パラダイス」(2017年、世田谷文学館、東京)、「ムットーニワールド からくりシアターⅣ」(2018年、八王子市夢美術館、東京)、「ムットーニシアター in HANKYU」(2019年、阪急うめだホール、大阪)「ムットーニからくりシアター展〜機械仕掛けのパラダイスへようこそ〜」(2020年、藤枝市郷土博物館・文学館、静岡)、「ムットーニのオルゴールシアター」(2020年、六甲オルゴールミュージアム、兵庫)など。